

在日外国人男性 170 名に聞いた、日本の魅力調査！ 外国人は“はだし愛好家”！？5割が畳生活と判明 ～日本での「裸足文化」で困惑も～

削らない角質ケア「ベビーフット」を展開する株式会社リベルタ（代表取締役・佐藤透）は在日外国人に対し、日本の美意識・文化に関する意識調査を実施しました。今回の調査結果は、2016年04月27日(木)～2016年05月2日(月)の6日間、全国の20～50代の在日外国人男性170名を対象に行ったものです。

【調査結果サマリー】

■裸足好き外国人は6割以上

あなたは裸足が好きですかという質問に対し、約6割がとても好き・まあまあ好きと回答した。（61.6%）

逆に裸足が嫌いな人はわずか7%という結果となった。裸足の文化は日本独特の文化だが、外国人にも広く浸透していることが分かった。

■日本の文化で好きなのは“畳”。自宅に畳がある外国人は5割？！

日本の好きな文化を教えてくださいという質問に対し、1位は畳で約4割の人が回答（40.6%）。次いで制服（29.4%）、ふとん（22.9%）という結果となった。また現在住んでいる家に畳がありますかと質問したところ約5割があると回答（47.1%）。現在家に畳がないが興味があると回答した人は12.9%で、合わせると60%の人が畳への関心が高いということがうかがえる。畳という日本独自の文化に魅力を感じている外国人が多数いることが明らかとなった。



日本の好きな文化 1位「畳」

■最初は困惑？日本での失敗談も裸足回答が多数

日本での失敗談を聞いたところ、“靴を脱ぐ場所をいつも間違える” “穴が空いた靴下を履いてしまい、飲食店で和室の部屋に案内され、足の光景が見られそうでした。” “靴を履いたまま畳に上がった” “サウナに靴で入った”など日本の裸足文化での失敗談が多かった。

また、“マナーが多い” “ガラスが綺麗に磨かれているのでぶつかった”など日本の繊細な文化に慣れないという回答が多かった。

◆好きだけど脱げない…“居酒屋”はテーブル族…。

外食をする際に選んでしまう席のタイプを聞いたところ、靴を履いたままのテーブルタイプと答えた人が79.4%という結果に。

裸足好きは多いが外出先で靴を脱ぐ人は意外と少なかった。意識していない人も多い中、足のニオイが気になるという回答も多かった。

（35.6%）特に、30代男性は5割が足のニオイを気にして座敷タイプを利用しないという結果となった。（52.1%）

裸足自体は好きなものの、エチケットとして気にしている外国人も多いことが分かった。

本内容に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「リベルタ調べ」と明記ください。

※本レターに記載していない調査結果もございます。詳細は下記までお問合せください。

【参考：日本のイメージはやはり“はだしの国”。】

在日外国人の日本の魅力調査を行った結果、実に6割の外国人が裸足好きであることが分かりました。

また現在の住まいには5割ほどの人が畳の生活をしており、この結果から日本の裸足文化に魅力が高いということが分かりました。そんな裸足好きの在日外国人に「日本で体験した失敗談を教えてください」と聞いたところ、「穴が空いた靴下で和室に上がってしまった」や「正座ができずに苦労した」、「靴を入ったまま家に入ってしまった」など、裸足にまつわる失敗談が多く上げられました。このことからも、日本に深く根付く裸足文化に対する積極的なチャレンジが見受けられます。

裸足文化への興味が高い一方、「外食をする際に選んでしまう席のタイプ」を聞いたところ、約8割が「靴を履いたままのテーブルタイプ」と回答。その理由では、「足のニオイが気になる」が35.6%で1位となりました。高温多湿のこれから季節、ますますニオイを気にする外国人が増えそうな調査結果となりました。

これから2020年に向けて、ますます外国人が日本の文化に触れる機会が多い中、日本人も改めて“はだし文化”を大切にしたいですね。また、夏本番に向けて男女ともに裸足になる機会も多いですので、裸足になるための足裏ケアやニオイ対策もしっかりと行っていただきたいです。

【日本人の間違った文化をコミカルに描いた動画公開中！】

日本人は昔から裸足になじみ深い国民です。家に入る時は必ず靴を脱ぎ、相撲や剣道、柔道などの日本の伝統的なスポーツは裸足で行われます。日本人の清潔好きでまじめな気質を表しており、ある種、裸足に敬意を払い、重んじているともいえます。

今回の動画では、そんな「はだしの国」日本を外国人が勘違いしたかのように大げさにデフォルメし、裸足で日常を過ごしつつ、美しい素足を美德と考える日本人をコミカルに描きました。“日本人は裸足で出勤” “日本でのアイドルサイン会は足裏スタンプ” “日本の卒業アルバムは足裏” “日本人はお見合いも綺麗な素足で判断” など、日本人の間違った文化を発信しながら「美しい裸足の素晴しさ」を一つの作品とて楽しみながら感じて頂ける内容です。



『はだしの国 日本』特設サイトオープン

日本人に馴染みの深い「はだし文化」を様々な角度からご紹介する特設サイトです。

美しい"はだし"きれいな"はだし"を集めた写真や、はだしに関するトリビアをご紹介しています。

◆サイトURL：<http://babyfoot.co.jp/hadashinokuni.html>

4月21日(木)より公開 (WEB動画 1:17秒)

YOUTUBE リンク : <https://youtu.be/Q-P6I5p9Cyc>

【履くだけ簡単、足裏つるり。削らない角質ケアはベビーフット】

足の裏に溜まった角質を削ることなく履くだけで自然に落とすフットケア商品です。フルーツ酸をベースに処方されたジェルローションに足を浸して洗い流すだけと簡単。足裏の角質層に浸透し古くなった角質のターンオーバーを促し、約3日～10日程で余分な角質が自然の歩行の摩擦でボロボロと剥け、赤ちゃんのようなふくらつるつるの足に生まれ変わります。

◆ベビーフット URL : <http://babyfoot.co.jp/>

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】

株式会社リベルタ マーケティング本部 広報・PR 担当 代田・井原

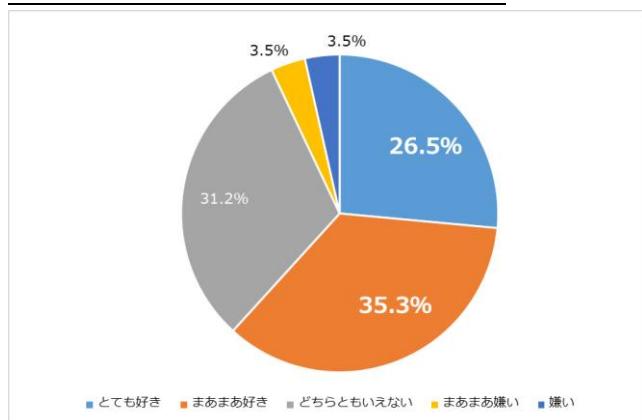
TEL:03-5489-7667／FAX:03-5489-7686

■裸足好き外国人は6割以上

あなたは裸足が好きですかという質問に対し、約6割がとても好き・まあまあ好きと回答した。（61.6%）

逆に裸足が嫌いな人はわずか7%という結果となった。裸足の文化は日本独特の文化だが、外国人にも広く浸透していることが分かった。

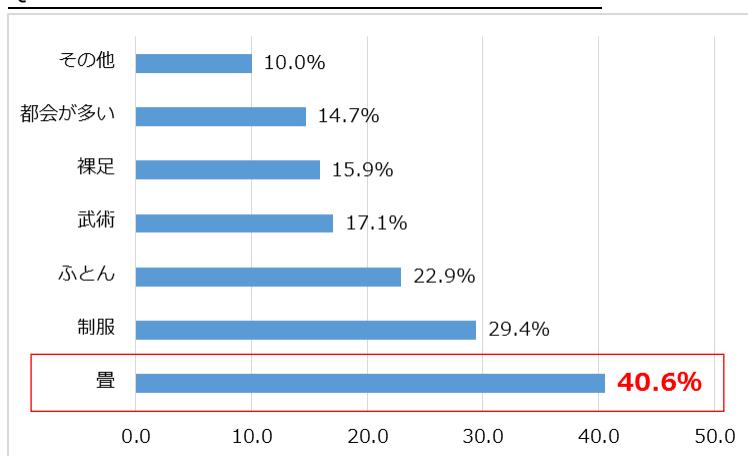
Q1. あなたは裸足が好きですか。（単一回答） (n=170)



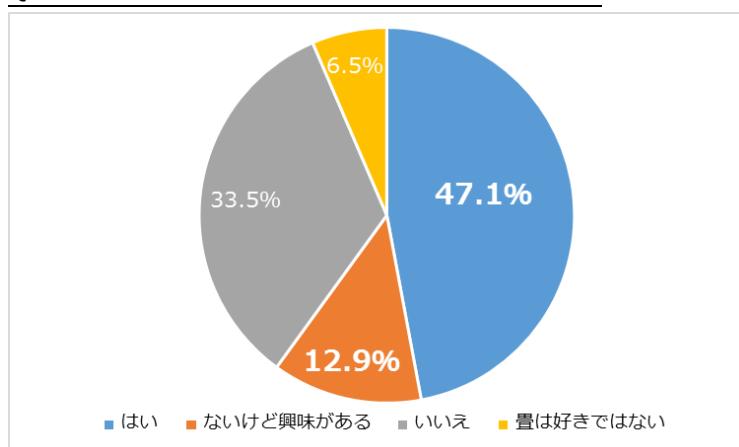
■日本の文化で好きなのは“畳”。自宅に畳がある外国人は5割？！

日本の好きな文化を教えてくださいという質問に対し、1位は畠で約4割の人が回答（40.6%）。次いで制服（29.4%）、ふとん（22.9%）という結果となった。また現在住んでいる家に畠がありますかと質問したところ約5割があると回答（47.1%）。現在家に畠がないが興味があると回答した人は12.9%で、合わせると60%の人が畠への関心が高いことがうかがえる。畠という日本独自の文化に魅力を感じている外国人が多数いることが明らかとなった。

Q2. 日本の好きな文化を教えてください。（複数回答） (n=170)



Q3. 現在住んでいる家に畠はありますか。（単一回答） (n=170)



■最初は困惑？日本での失敗談も裸足回答が多数

日本での失敗談を聞いたところ、“靴を脱ぐ場所をいつも間違える” “穴が空いた靴下を履いてしまい、飲食店で和室の部屋に案内され、足の光景が見られそうでした。”“靴を履いたまま畳に上がった” “サウナに靴で入った”など日本の裸足文化での失敗談が多かった。また、“マナーが多い” “ガラスが綺麗に磨かれているのでぶつかった”など日本の繊細な文化に慣れないという回答が多かった。

◆好きだけど脱げない…“居酒屋”はテーブル族…。

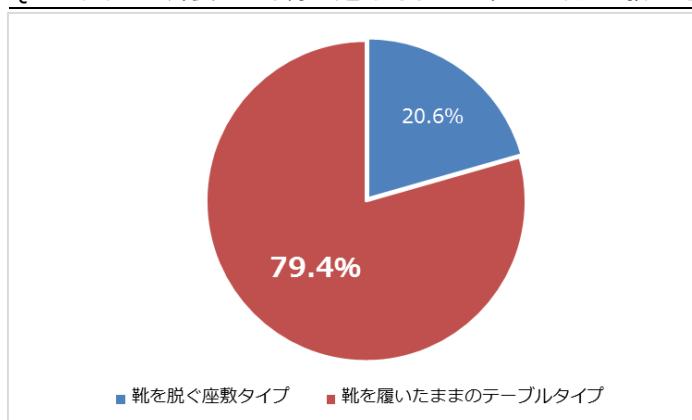
外食をする際に選んでしまう席のタイプを聞いたところ、靴を履いたままのテーブルタイプと答えた人が 79.4%という結果に。

裸足好きは多いが外出先で靴を脱ぐ人は意外と少なかった。意識していない人も多い中、足のニオイが気になるという回答も多かった。

(35.6%) 特に、30代男性は5割が足のにおいを気にして座敷タイプを利用しないという結果となった。 (52.1%)

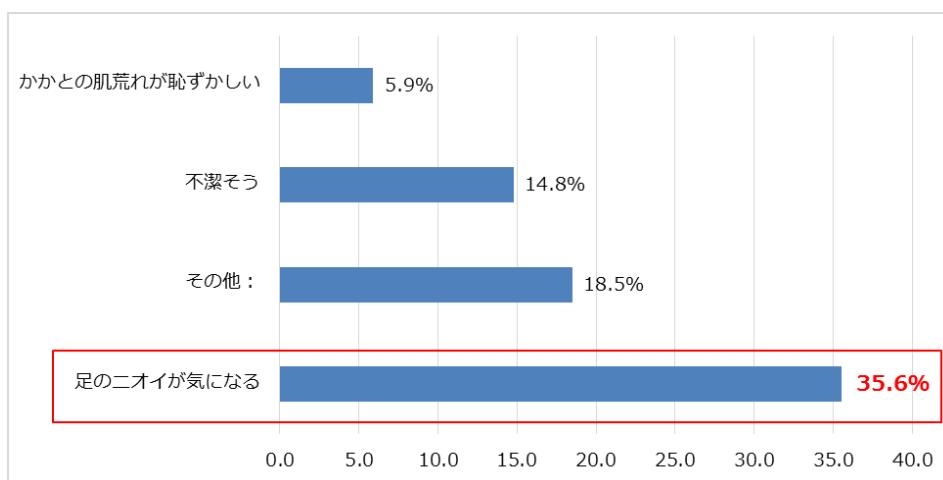
裸足自体は好きなものの、人からの目線を気にしている外国人も多いことが分かった。

Q4. あなたが外食をする際に選んでしまう席のタイプを教えてください。(単一回答) (n=170)

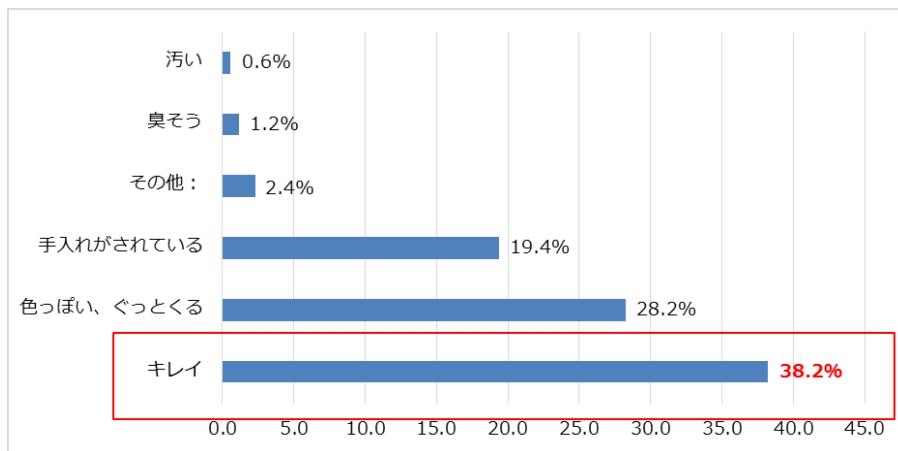


Q5. 外食する際に「靴を履いたままのテーブルタイプ」を選ぶ理由を教えてください。(複数回答)

※回答者：外食をする際に選んでしまう席のタイプで「靴を履いたままのテーブルタイプ」と回答した方。 (n=135)



Q6. 日本人女性の素足をどう思いますか。(複数回答) (n=170)



◆調査概要

- ・調査方法 : インターネットリサーチ
- ・実施期間 : 2016年04月27日(木) ~ 2016年05月02日(月)
- ・調査対象 : 居住地:日本(全国) 性別:男性
:年齢:20代~50代 属性:日本在住の外国人
- ・調査人数 : 170サンプル

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】

株式会社リベルタ マーケティング本部 広報・PR担当

代田(シロタ):momo-s@liberta.net /井原(イハラ):saki-i@liberta.net

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワービル5F

TEL:03-5489-7667/FAX:03-5489-7686